

(2) 種目別体力・運動能力の概要について【令和元年度全国平均値との比較】

<小学校5年男子>※ _____ 下線部は、全国平均値を上回っている値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	シャト ルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	16.37	19.80	33.24	41.74		50.32	9.42	151.47	21.60	53.61
県	<u>16.51</u>	<u>19.07</u>	<u>32.45</u>	<u>42.61</u>		<u>48.72</u>	<u>9.53</u>	<u>151.33</u>	<u>21.20</u>	<u>53.04</u>

○ 上回った種目は「握力」「反復横とび」である。
○ 課題となる種目は「長座体前屈」「20m シャトルラン」であり、柔軟性や動きを持続する能力を高める授業の工夫が必要である。

<小学校5年女子>※ _____ 下線部は、全国平均値を上回っている値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	シャト ルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	16.09	18.95	37.62	40.14		40.80	9.63	145.70	13.59	55.59
県	<u>16.36</u>	<u>18.60</u>	<u>36.58</u>	<u>41.34</u>		<u>42.26</u>	<u>9.60</u>	<u>147.75</u>	<u>14.07</u>	<u>56.19</u>

○ 上回った種目は「握力」「反復横とび」「20m シャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」である。「上体起こし」は、ほぼ全国平均と同等である。
○ 課題となる種目は、「長座体前屈」であり、柔軟性を高める工夫が必要である。

<中学校2年男子>※ _____ 下線部は、全国平均値を上回っている値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	シャト ルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	28.64	26.85	43.43	51.87	400.03	83.13	8.02	195.02	20.35	41.56
県	<u>29.44</u>	<u>26.02</u>	<u>42.57</u>	<u>52.28</u>	<u>398.19</u>	<u>83.10</u>	<u>8.00</u>	<u>198.62</u>	<u>20.35</u>	<u>41.28</u>

○ 上回った種目は「握力」「反復横とび」「持久走」「50m走」「立ち幅とび」である。
○ 課題となる種目は「長座体前屈」であり、柔軟性を高める授業の工夫が必要である。

<中学校2年女子>※ _____ 下線部は、全国平均値を上回っているか同等値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復横 跳び (点)	持久走 (秒)	シャト ルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	23.74	23.58	46.29	47.25	290.55	57.98	8.81	169.71	12.87	50.03
県	<u>24.05</u>	<u>22.88</u>	<u>45.91</u>	<u>47.58</u>	<u>287.72</u>	<u>58.66</u>	<u>8.78</u>	<u>172.06</u>	<u>12.96</u>	<u>50.09</u>

○ 上回った種目は「握力」「反復横とび」「持久走」「20m シャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」である。それ以外の種目はほぼ全国平均と同等である。
○ 各項目に上昇傾向が見られるが、「上体起こし」「長座体前屈」の改善が必要である。

〔種目別体力・運動能力の全体的な傾向〕

- 昨年度同様、「握力」「反復横とび」は、全ての学年・男女で全国平均を上回った。
- 昨年度同様、「上体起こし」「長座体前屈」は、全ての学年・男女で全国平均を下回った。

(3) 運動習慣等について【令和元年度全国平均値との比較】

R1 全国体力・運動能力調査児童・生徒質問	小学校5年 (%)				中学校2年 (%)			
	男子		女子		男子		女子	
	全国平均	本県平均	全国平均	本県平均	全国平均	本県平均	全国平均	本県平均
運動やスポーツをすることは「好き」	71.2%	68.7%	55.6%	53.9%	62.5%	61.7%	46.8%	44.3%
体育・保健体育の授業は「楽しい」	73.8%	72.3%	60.2%	59.5%	52.4%	56.2%	40.7%	42.7%
1週間の総運動時間(月～日)(分)	556.8分	447.2分	348.9分	307.6分	817.5分	800.8分	596.0分	604.8分
運動部への所属	29.6%	33.1%	19.8%	23.2%	75.6%	81.8%	57.3%	63.3%
地域スポーツクラブへの所属	48.1%	45.1%	31.4%	29.2%	17.9%	17.2%	10.7%	11.0%
毎日朝食を食べる	82.2%	83.8%	82.3%	83.9%	81.6%	83.0%	78.3%	81.2%

※太字は全国平均を上回る数値

- 運動への意識（運動やスポーツをすることは「好き」の割合）
昨年度同様、全ての調査学年で全国平均をやや下回った。→ 幼児期からの工夫が必要である。
- 運動への意識（体育・保健体育の授業は「楽しい」の割合）
中学2年男女で、全国平均値を上回った。→ 小学校体育の「楽しい授業」への工夫が必要である。
- 1週間の総運動時間（月～日）※体育・保健体育の授業時間を除く
中学2年女子以外の調査学年で全国平均を下回った。→ 特に小学校5年男児の差が大きく、肥満や運動能力に影響があると考えられる。
- 運動部への所属割合
昨年度同様、全ての調査学年で全国平均を上回った。
- 地域のスポーツクラブへの所属
昨年度同様の結果となった。→ 学校の部活動への加入が大きいと考えられる。
- 朝食を毎日食べる割合
昨年度同様、全ての調査学年で全国平均値を上回った。→ 「ふくしまっ子食育指針」に沿った食育指導の取組効果が大きいと考えられる。

(4) 児童生徒の体力・運動能力向上のための取組について

今後も体育・保健体育の授業実践の中で、動きたい体・動ける体づくりを目指す「運動身体づくりプログラム」の積極的な活用や自校の実態に応じた「体力向上推進計画書」の実践を図りながら、楽しい体育・保健体育となるような授業改善を目指す。また、「ふくしまっ子児童期運動指針」をもとに児童の身体活動時間を確保したり、「自分手帳」を活用して児童生徒の体力・運動能力や健康への関心を高めたりするなど、自ら進んで運動に取り組む習慣づくりを推進する。

さらには、運動やスポーツをすることの楽しさを感じることが出来る場を設定して運動の実践力を養い、生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる児童生徒を育成し、将来の健康長寿の基盤としていきたい。